

みなと区議会だより

Ⓢ No.165 2006年(平成18年)7月21日

港区議会 / 〒105-8511(専用郵便番号)港区芝公園1-5-25 電話(3578)2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>



愛宕のほおずき縁日 (6月23日撮影)

エレベーター事故について

6月3日お亡くなりになった、市川大輔^{ひろすけ}さんのご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様から哀悼の意を表します。

区民が安心して利用できるはずの区の施設において、死亡事故が起きたことは、遺憾の極みであります。

区議会は、事故に伴う居住者の方々の不安や、日常生活における不便を早急に解決するとともに、徹底した事故原因の究明を行ってまいります。

そのために、行政当局に十分な情報開示を求め、再発防止の諸対策を講じてまいります。早速、議会内に調査・研究するためのエレベーター事故等対策特別委員会を設置しました。

区民の皆様が安心して利用できる区の施設をめざして、全力をあげて取組んでまいります。

港区議会議長 岸 田 東 三

エレベーター事故等対策特別委員会を設置

平成18年第2回定例会は、6月15日から23日までの9日間にわたり開会され、まず、初日、二日目に10人の議員から区長、議長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。

質問は、エレベーター事故の再発防止に向け徹底的な取組みを、安全安心に軸足を置いた施設運営を、「自動二輪」駐車対策について、「港区の誇り」を建築デザインに生かせ、サーマルリサイクル実施は疑問、都市施設のオートデザイン化を促進せよ、エレベーター事故を受け契約手法の改善を、高齢者の交通支援について、など区政全般にわたりました。

区長から提出された案件は、条例制定など40件、平成18年度補正予算1件を原案どおり可決・承認しました。

皆さんから提出された請願は、1件を採択、取下げが1件、34件を継続審査としました。

議員提出による案件は、意見書4件を可決し関係機関へ送付したほか、新規に提出された条例1件を含め3件を継続審査としました。

なお、今定例会において任期満了に伴い、常任委員会委員・運営委員会委員を新たに選任するとともに、委員の辞職に伴う特別委員会委員を選任したほか、エレベーター事故等対策特別委員会の設置など、新たな委員会が構成されました。

また、平成18年第1回臨時会は、7月3日に開会され、区長から提出された、工事請負契約の承認(港区立障害保健福祉センター等昇降機取替え工事)の案件1件を原案どおり可決し閉会しました。

議長 岸 田 東 三
副議長 藤 本 潔
監査委員 北 村 利 明

自 民 党 議員団 (10人)
共 産 党 議員団 (6人)
公 明 党 議員団 (6人)
民主クラブ 民主クラブ (4人)
オンブズマン オンブズマン など 二票の会 (2人)
区民クラブ 港区区民クラブ (1人)
かがやき かがやき (1人)
仲間へ勇気 仲間へ勇気の会 (1人)
みなと社民 ネットワーク みなと社民 (1人)

常任委員会

総務
菅野 弘一 (自民)
樋野 紀和子 (オンブズマン)
湯原 信一 (かがやき)
林 和雄 (公明)
沖島 えみ子 (共産)
北村 利明 (共産)
横山 勝利 (民主クラブ)
大島 幸雄 (自民)

保健福祉
熊田 ちづ子 (共産)
古川 伸一 (公明)
森野 弘司 (自民)
いのくま 正一 (共産)
矢野 健一郎 (民主クラブ)
鈴木 洋一 (自民)
渡辺 専太郎 (区民クラブ)
佐々木 義信 (自民)

建設
杉原 としお (自民)
七戸 淳 (民主クラブ)
なかま え 由紀 (仲間へ勇気)
杉本 とよひろ (公明)
岸田 東三 (自民)
星野 喬三 (自民)
井筒 宣弘 (自民)
山越 明 (公明)

区民文教
清水 一郎 (民主クラブ)
島田 幸雄 (自民)
阿部 浩子 (みなと社民)
秋元 ゆきひさ (オンブズマン)
風見 利男 (共産)
達下 まさ子 (公明)
鈴木 たけし (自民)
藤本 潔 (公明)

議会運営委員会

鈴木 木 たけし (自民)
林 和雄 (公明)
菅野 弘一 (自民)
いのくま 正一 (共産)
古川 伸一 (公明)
矢野 健一郎 (民主クラブ)
杉原 としお (自民)
風見 利男 (共産)

特別委員会

交通・環境等対策
大島 幸雄 (自民)
矢野 健一郎 (民主クラブ)
阿部 浩子 (みなと社民)
樋野 紀和子 (オンブズマン)
星野 喬三 (自民)
達下 まさ子 (公明)
林 和雄 (公明)
沖島 えみ子 (共産)
島田 幸雄 (自民)

財政・区役所改革等対策
杉本 とよひろ (公明)
風見 弘一 (自民)
菅野 元ゆきひさ (オンブズマン)
秋田 東三 (自民)
岸田 一三 (民主クラブ)
清水 一三 (民主クラブ)
鈴木 一三 (民主クラブ)
北村 勝利 (民主クラブ)
藤本 勝利 (民主クラブ)
横山 勝利 (民主クラブ)

まちづくり・子育て等対策
いのくま 正一 (共産)
森野 弘司 (自民)
なかま え 由紀 (仲間へ勇気)
七戸 淳 (民主クラブ)
熊田 ちづ子 (民主クラブ)
古川 伸一 (自民)
杉原 としお (公明)
湯原 宣弘 (かがやき)
井筒 宣弘 (自民)
山越 明 (自民)
佐々木 義信 (自民)

エレベーター事故等対策
杉本 とよひろ (公明)
風見 弘一 (自民)
菅野 元ゆきひさ (オンブズマン)
秋田 東三 (自民)
岸田 一三 (民主クラブ)
清水 一三 (民主クラブ)
鈴木 一三 (民主クラブ)
北村 勝利 (民主クラブ)
藤本 勝利 (民主クラブ)
横山 勝利 (民主クラブ)

◎委員長 ○副委員長

代表・一般質問

(要旨)

6月15日 16日

エレベーター事故の再発防止に向け徹底的な取組みを

自民党議員団

質問 シティハイツ竹芝のエレベーター事故で若い尊い命が失われた。痛惜極まりなく、心から哀悼の意を表したい。警察等による事故の原因究明が行われている一方、区においても危機管理対策会議等の体制を立ち上げ、区有施設全体のエレベーターの緊急点検を実施するなどの対応措置を講じたと聞いている。シティハイツ竹芝の住民のために1日も早く安全の確認を完了し、安心して暮しに戻れるよう施設機能の回復を実現させてもらいたい。区有施設での類似事故再発防止に向けた今後の取組みは。

区役所・支所改革について

質問 シティハイツ竹芝のエレベーター等を中心に点検し、必要な措置を講じる。区民の生命と財産を守る立場から、事故の原因究明と再発防止に向け全庁をあげて全力で取組む。

区役所・支所改革について

質問 過去の区政を振り返ると、支所や土木事務所などの出先機関、即ち区民の身近な行政拠点が本所へと吸収されてきた。区役所・支所改革は、地域主義の方向に舵を切るという区政の大政策転換といえる。大英断であるとともに果敢な取組みであると思う。2カ月半が過ぎた段階で、改革の成果を聞くのは早急に過ぎるかもしれないが、次の2点について伺いたい。①総合支所各課での取組みと総合支所長として部長級職員を配置したことへの関係者の評価は。②本庁機能が縮小した中で各支援部は計画通り機能しているか。

国際交流のあり方について

質問 港区には多国籍の多くの外国人が住み、働いている。外国人登録人口は約2万人、そしてこの数倍の人たちが区内で活動していることを考えると、改めて港区の国際性を痛感する。それゆえ、区として新たな国際交流のあり方を展開する必要があるのではないか。①国際交流においては、地域の仲間として外国人も行事や活動に参加し、生活全般で日常的な結びつきを深めていくことが肝心。総合支所と連携してきめ細かい対応を。②外国人の子どもの安心して区立学校に通えるための環境づくりに関する方策は。③学校教育の中で、子どもたちが外国に対する理解や外国人との友好を深めるためにどのようなカリキュラムを組んでいるのか。



▲新たに設けられた芝地区総合支所

答弁 こうした重大事故が二度と起きないよう「港区シティハイツ竹芝事故調査委員会」を設置し、区独自の徹底的な原因究明と再発防止への取組みを開始した。7月下旬を目途に中間報告を行う予定。また、全区有施設

答弁 ①地区活動推進課では放課後自習室など地域の要望・苦情等に対する迅速な対応に、くらし応援課ではフロアマネージャー制導入による待ち時間の短縮など窓口サービスの向上に、地区政策課では地域情報紙の発行や「地域の課題は地域で解決する」ための区民協働・参画の仕組みづくりに取り組んでいる。また、部長級の総合支所長が現

答弁 ①子どもや大人向けに英語に親しむ機会づくりを行うなどを内容とする協定を区と結んだ

テンブル大学の学生や職員が清掃・美化活動等の地域活動に参加する、あるいは大使館と近隣商店街が協働して事業を行うなど、新しい国際交流の取組みの検討を進めている。今後、外国人が地域社会の一員として気軽に参加できる国際文化交流の広場づくりを総合支所で進める。②日本語能力が不十分な児童への

痛切なエレベーター事故を教訓に、安全安心に軸足を置いた施設運営を

共産党議員団

質問 ①異常や故障が以前から起きていたのだから、根本的な調査が行われるべきだった。区長の認識は。②エレベーターの取替手順と取替期間中の対策は。③事故後の区の初動体制において、情報伝達と意思決定が迅速にとられていたか。④損害賠償請求の検討を。⑤区有施設のエレベーター取替について。⑥保守・管理の委託費用がなぜ大幅に減額されたか。⑦事故の教訓からも、指定管理者制度を見直せ。



▲エレベーター事故の原因究明と対策を、区長に申し入れる党議員団。

答弁 ①このような事故が二度と起きないよう、港区シティハイツ竹芝事故調査委員会において、過去の不具合や保守業務等の状況など、徹底的な原因究明と再発防止に取り組む。②住宅、センターの順に取り替える。代替住宅への一時的転居を支援する。③住民への情報提供を迅速にすべきだったと反省しており、改めて緊急情報連絡体制を徹底。④シンドラー社に損害賠償請求を検討。⑤区有施設のシス製8台についても、取替えを検討。⑥随意契約から指名競争入札に変更し、契約額は下がった。⑦

質問 ①異常や故障が以前から起きていたのだから、根本的な調査が行われるべきだった。区長の認識は。②エレベーターの取替手順と取替期間中の対策は。③事故後の区の初動体制において、情報伝達と意思決定が迅速にとられていたか。④損害賠償請求の検討を。⑤区有施設のエレベーター取替について。⑥保守・管理の委託費用がなぜ大幅に減額されたか。⑦事故の教訓からも、指定管理者制度を見直せ。

大規模開発などによる環境アセスメントの問題について
質問 ビル風による被害、影響は区内全域に広がっている。現実的に即した風害の調査を行え。
答弁 複合的要因があり、有効な調査方法等を検討、研究する。

介護保険について
質問 ①制度改正等の説明会や学習会の実施を。②税制改正による激変緩和対象外の人への対応は。③介護報酬の引き上げを。
答弁 ①福祉会館等での説明会等、理解されるよう努める。②負担の公平性の観点から、慎重な対応が必要。③利用者の声を把握し、必要に応じて国に要望する。④必要な場合には調整をする。

障害者「自立支援」法について
質問 ①国に対し応益負担の撤回の申し入れを。②通所施設の事業者への運営費の助成を。③区や民間事業者による通所施設への発注を働きかけよ。
答弁 ①考えていない。②検討している。③作業所の運営事業者の意向を聴き、検討する。

若者の雇用問題について
質問 ①ポケット労働法を成人式案内状に同封すること。②その冊子を区有施設に置くこと。③就職面接会の実施を。
答弁 ①同封して郵送する。②商工会館、勤労福祉会館、各総合支所に置く。③ハローワーク品川との共催に向け、調整中。

「自動二輪」駐車対策について

公明党議員団

質問 ①白金高輪駅の地下駐車施設の活用について。②品川駅東口の自転車・自動二輪の収容施設の設置について。
答弁 ①東京国道事務所と協議中。②自動二輪は既存の自動車駐車場、自転車は「区立こうなん星の公園」地下整備の活用を検討。

質問 ①事故原因究明にあたって区としての明確な方針は。②危機管理体制の再構築について。
答弁 ①「港区シティハイツ竹芝事故調査委員会」を設置、徹底的な原因究明と再発防止に向けた取組みを開始。②事故発生時の対応などを再構築していく。



▲人の往来に迷惑な自転車など(品川駅東口)

質問 ①調理器具の燃料をプロパン燃料化など再利用を。
答弁 他自治体を参考に検討。

芝浦港南地域の交通対策について

質問 ①都市基盤整備に伴う交通対策調査は。②ゆりかもめの利用料金の低減化について。

答弁 ①交通バリアフリーの基本構想や自転車駐車場整備策定のための調査を実施する。②事業者からは、これ以上の割引は困難とのこと。今後も運賃割引サービスなど粘り強く働きかける。

区道整備とバリアフリー化の推進

質問 南麻布四・五丁目、広尾駅周辺の区道整備の推進について。

答弁 地域住民の合意を得ながら街づくりを進める中で、整備を行うことが有効と考える。

JR田町駅西口の放置自転車対策

質問 ①放置自転車の現状認識と区への対応について。②放置自転車対策用地の活用について。

答弁 ①駅西口の放置自転車は、通行の障害となっている。鉄道事業者等への協力依頼や駐輪場施設、用地確保等を検討。②確保した用地の早期活用を図る。

「港区の誇り」を建築デザインに生かせる

民主クラブ

質問 三田中学校、高陵中学校、麻布図書館、新郷土資料館などの教育施設で大規模な新築、改築が予定されている。今後、区が建築する施設について①港区内在住設計者の建築物を視察したことを踏まえ、教育施設への反映は。②豊島区の中学校では、港区が計画している学校工事費の半額以下だがどう思うか。③「港区の誇り」をデザインすることについて伺いたい。

答弁 ①長崎美術館は自然の要素を捉えた建物で、今後改築する

団塊の世代の雇用対策と生涯学習

質問 ①団塊世代の意識調査の実施と庁内の横断的な取組みについて。②シルバー人材センターの活動支援について。③新たな生涯学習事業の展開について。

答弁 ①今年度調査を実施し、「港区団塊の世代等支援計画検討委員会」を設置、全庁的に取り組む。②積極的に支援していく。③団塊世代の能力、経験を活かせる仕組みづくりを検討。

福祉会館のあり方について

質問 新たな時代に相応しい名称を含め、あり方の検討について。

答弁 名称やあり方を検討する。

公衆浴場の経営支援について

質問 区独自の総合的支援を行う必要があると考えるが。

答弁 検討する。

区の奨学金制度について

質問 「港区の奨学金制度」の更なる充実が必要と考えるが。

答弁 制度全体の見直しを検討。

重点施策の管理職削減による影響

質問 子ども支援部が新設されたが、部長は芝地区総合支所長兼

払いが毎月14万円程度となる。介護度5の方で港区に住み続け、国民年金だけの収入しかない高齢者には「高嶺の花」である。在任期間を考慮した優遇制度等検討する必要があると思うが。



▲オープンした福祉プラザさくら川

区民センターの人事問題について他

質問 エレベーター死亡事故で、情報の伝達が複数あり錯綜した。危機管理は情報管理だと思いが

エレベーター死亡事故を受け 契約手法改善を動物愛護／高陵中学校の改築他

仲間へ勇気の会

質問 エレベーター死亡事故で、情報の伝達が複数あり錯綜した。危機管理は情報管理だと思いが

質問 前赤坂区民センター非常勤職員の異例な配置転換について

質問 安全安心に関わる契約においては特に、事業者の信頼性を評価する方が必要。

都市施設のアーチデザインを促進せよ!

質問 景観行政における建築物の色についての基本的認識は?

答弁 将来の色として、潤いや暖かみを感じさせつつ、多様な地域特性を反映し、地域と調和した様々な色があることが望ましいと考えている。

エレベーター死亡事故について／高齢者の交通支援について

質問 事故が起こったからの危機管理体制を見直すべき。

答弁 人命と安全を最優先するため、今後の管理や委託の改善を。

ネットワークみなと社民

質問 港区内住宅公社への指定管理者の取消を検討し、今後、区民の安全・安心の視点にたった最善の方法を選択する。

質問 首都圏直下型地震についてもエレベーターの6%で閉じ込めが発生するとしているが、区施設における安全性の見直しは。

質問 今年度、地域交通検討調査を予定しているが、高齢者の社会参加のためにも福祉バスの検討を盛り込むべきである。

質問 福祉などの視点にたつて、区としての方向性を定めていく。

一時保育のおしらせ

区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりします。

傍聴しようとする会議の開催3日前(土日、祝祭日を除きます)までに区議会事務局へ電話等でお申し込みください。なお、会議の開会予定については区議会ホームページ、ポスター等で案内いたします。

【申し込み・問い合わせ先】 区議会事務局調査係 内線2921

第2回定例会 会議日程

- 6月15日(23日) 9日間
15 運営委員会 本会議 会期決定
16 運営委員会 一般質問 4名
17 運営委員会 本会議 一般質問 6名
18 議案等付託
19 常任委員会 議案の審査等
20 常任委員会 (総務)
21 常任委員会 本会議 補正予算の議決
22 常任委員会 本会議

第1回臨時会 会議日程

- 7月3日 1日間
3 運営委員会 本会議 会期決定
4 諸報告 議案の付託
5 総務・保健福祉常任委員会 議案の審査等
6 委員長報告
7 運営委員会 本会議

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対
※略称 オンブズマンの会…オンブズマンみなと…票の会 ネットみなと社民…ネットワークみなと社民

Table with columns: 第2回定例会 案件名, 自民党議員団, 共産党議員団, 公明党議員団, 民主クラブ, オンブズマンの会, 港区民クラブ, みなとかがやき, 仲間へ勇氣の会, ネットみなと社民, 議決結果. Rows include various council resolutions and requests.

Table with columns: 第1回臨時会 案件名, 自民党議員団, 共産党議員団, 公明党議員団, 民主クラブ, オンブズマンの会, 港区民クラブ, みなとかがやき, 仲間へ勇氣の会, ネットみなと社民, 議決結果. Rows include council resolutions.

区民のみなさんから提出された請願

採択した請願

「協働会館(旧芝浦見番)」の現地保存と利活用に関する請願(要旨) 芝浦一丁目十一番に所在する「協働会館(旧芝浦見番)」は、木造建築の持つ本来の良さを活かした施設として現地に残すため、東京都に働きかけるとともに、地域活動や交流の拠点及び貴重な文化的な遺産を継承する施設として、地域住民その他の市民の利活用を図りたい。

新たに提出され第2回定例会で継続とした請願

「廃プラスチックのサーマルリサイクル(熱回収)について」の請願 「廃プラスチックのサーマルリサイクル(熱回収)について」の請願部を改正する条例 港区区立保育の実施に関する条例の一部を改正する条例 港区区立学校給食費助成条例

継続審査とした案件

港区区立保育の実施に関する条例の一部を改正する条例 港区区立学校給食費助成条例

取下げられた請願

六本木七丁目区域出雲大社前の通りに則して、六本木通りへの横断歩道及び信号機設置に関する請願

意見書を提出しました(要旨)

国民年金保険料滞納者に対する国民健康保険短期被保険者証の発行についての意見書 国は、国民年金保険料の滞納防止と納付促進のため、国民年金保険料を滞納する者に対し国民健康保険短期被保険者証の交付が可能となる社会保険庁改革関連法案を提案し、継続審査となりました。

乳幼児医療費助成制度の所得制限の撤廃と対象年齢の拡大を求める意見書 子育て世代への各種世論調査で、行政の支援に関する要望として最も多いのは、医療費の心配なく子どもが受診できる条件をつくってほしいという切実な願いです。

エレベーターのリコール制度の創設を求める意見書 シティハイツ竹芝のエレベーター事故は、居住者に衝撃をもたらした、東京都知事 宛

は、一九九四年に創設され、現在、就学前の乳幼児まで対象が拡大されましたが、依然として所得制限が設けられています。東京都が次世代育成支援対策推進法の趣旨を踏まえた、区市町村に対する財政的支援を充実することにより、港区は更に「少子化」対策を強めることができます。

エレベーターの安全神話崩壊は、全国民に不安を与えました。今明らかになった事実として、エレベーターに関する情報開示の不透明さが指摘されています。

エレベーターの欠陥情報等の実態調査を行うとともに、エレベーターに対するリコール制度の創設を強く求めるものです。

また、現地保存と利活用は、東京の港湾・湾岸地域の歴史や文化に新たな視点を提起し、急激に減少する木造建築物とそれを支える伝統的な木造建築技術を次世代に継承するなど、一地域の活性化を越えた意義深いものです。

あとがき

インドネシアジャワ島中部地震により不幸にして犠牲となられた方々のご冥福と、被災地の1日も早い復興をお祈りし、区議会では、全議員がお見舞金を集め6月8日インドネシア大使館へお届けしました。



右からローネ・ユリアントロ参事官、岸田東三議長、藤本潔副議長

編集委員

- 熊菅藤 田野本 ちひろ 秋七杉 元戸本とよひろ